

昨年の台風21号で損傷

兵庫県は阪神高速5号湾岸線の側道である県道芦屋鳴尾浜線の側道である鳴尾橋の橋げたを付け替え工事をするため、6月17日から再び全面通行止めになります。この区間は現在、東向き一方通行による暫定供用になっています。

橋げたは昨年9月の台風21号による土運船の衝突で損傷しており、この区間は現在、東向き一方通行による暫定供用になっています。

台風21号通過中の昨年9月



兵庫県は阪神高速5号湾岸線の側道である県道芦屋鳴尾浜線の側道である鳴尾橋の橋げたを付け替え工事をするため、6月17日から再び全面通行止めになります。この区間は現在、東向き一方通行による暫定供用になっています。

橋げたは昨年9月の台風21号による土運船の衝突で損傷しており、この区間は現在、東向き一方通行による暫定供用になっています。

台風21号通過中の昨年9月

6月17日から再び全面通行止め

■阪神高速5号湾岸線の側道の鳴尾橋周辺

浜甲子園保育所が移転

(UR)が所有しています。
園舎は老朽化しており、昨年9月の台風21号では、屋根が強風のため、はがれ飛んだり、めくれる被害が発生しました。市は移転後、現在の保育所用地をRに返す方針。



■市立浜甲子園保育所の移転予定地=枝川町

人がいます。浜甲子園保育所は昭和41年、開所。土地も園舎も都市再生機構



南甲子園幼稚園など 6園に空調設備を整備

保育室に空調設備が整備されるのは、浜脇と尻川、越木岩、門戸、南甲子園、山口の6園。市は6園の空調設備の整備事業として4760万円を予算に計上しました。

この問題については、西宮市議会が昨年9月、市立幼稚園における空調設備の早期整備完了を求める決議を全会一致で可決しました。

市民はがきアンケート「防災」に強い関心

私は4月、市民はがきアンケートを実施しました。約3万枚をポスティングや産経新聞朝刊の折り込みで西宮市内に配布し、98通の回答を得ました。

4月で就任からまる1年を迎えた石井登志郎・西宮市長について「評価する」「どちらでもない」の三択で質問したところ、「評価する」は21.4%、「評価しない」は21.4%でした。

「評価しない」は12.2%（12通）、「どちらでもない」は59.2%（58通）。無回答は7.1%（7通）でした。

「評価する」の理由では、「県立西宮病院と市立中央病院の統合で県と合意したこと」「防災、高齢者、児童等の対策に取り組んでいるから」などの政策面に加え、「下野後、他党からの立候補もせず、地元での充電、地域貢献に取り組んでいたので信念を感じる」「人柄に誠実さを感じた」などの人物面の評価を挙げる声がありました。「前の市長よりも良い。変なニュー

いだけでもう少し時間が必要」「可もなく不可もない」などの意見が多数を占めました。そのうえで、「今後の行動を期待する」「クリーンなイメージがある」などの期待を表明する声もありました。「強いリーダーシップが感じられない」「何をやっているのかがさっぱりわからない」などとして市政の取り組みについて懸念する声も出ました。

西宮市政で重視する課題について選択項目を提示して複数回答可で聞いたところ、防災が55件でトップ。次いで高齢者福祉（40件）、教育（38件）、子育て環境（35件）、行政改革（35件）などとなっています。

市民はがきアンケートにご回答いただ



■かんのが実施した市民はがきアンケートの用紙

いた皆様に心より御礼申し上げます。

石井市長を「評価する」は21.4%



かんのコラム

16

石井市長は市民の期待に応えよ



■石井登志郎・西宮市長=昨年9月、西宮市役所

私が実施した市民はがきアンケートで、石井登志郎・西宮市長について「評価する」「評価しない」の両方の回答が低水準にとどまり、「どちらでもない」が過半数を占めました。

石井市長については多くの市民の回答の通り、「評価する」に値する実績はなく、「評価しない」と判断するだけの問題点もありません。就任後1年では実績を残せないかもしれません、市政についてのビジョンを市民に示せるはずです。それができない石井市長の行政手腕に一定の課題があるのは事実だと考えます。

多くの市民が石井市長についての評価を保留する背景には、今村岳司・前市長が暴言騒動で西宮のイメージを落としたという「苦い記憶」があるだけに、「石井市長はまともな市長であってほしい」という願望にも似た期待感があるようです。しかし、このままでは、多くの市民が石井市長の「無策」に不満をもち、「評価しない」に

傾く可能性があります。

私が市議会やインタビューなどで感じた石井市長のイメージは、幅広い分野に精通した教養人であり、国会議員時代などを通じて培った多様な人脈をもっています。市議会でもわかりやすく丁寧な答弁をしており、明確さを感じさせます。

その一方で、組織を束ねる行政のリーダーとしての力量は今も未知数です。市職員の間には石井市長について「市長に異議を唱えない人物の登用が目立つ」「思いつきで発言する」「他市の成功事例のいいとこ取りをしようとする」などの冷めた見方が広がっています。

石井市長は市議会での答弁や私のインタビューで行財政改革に積極的に取り組む意向を表明しています。行財政改革を進め、財政状況の悪化を食い止めることが様々な施策を充実させる前提になります。石井市長が行財政改革にどこまで本気で取り組むかが石井市長に対する「勤務評定」の大きな基準になると私は考えています。